

第五十一回帝國議會  
衆議院

# 輸出生絲檢查法案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第八回

會議

大正十五年三月十日(水曜日)午前十時  
五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 折原已一郎君

理事 村上 國吉君

理事 志賀和多利君

理事 畔田 明君

橫山勝太郎君

菅村 太事君

藤井 敬慎君

近藤重三郎君

加藤 六藏君

關矢 孫一君

若尾幾太郎君

青木 精一君

石坂 豐一君

二木 洵君

高橋熊次郎君

加藤 知正君

隅田 豐吉君

山内 範造君

高木 音藏君

小島 善作君

志村清右衛門君

丹下茂十郎君

千葉宮次郎君

小野 寅吉君

三月六日委員村上紋四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ平沼亮三君ヲ、同日委員寺島權藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ近藤重三郎君ヲ、同日委員加藤六藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ青木知四郎君ヲ、同日委員川口義久君辭任ニ付其ノ補闕トシテ石坂豐一君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 早速 整爾君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出生絲檢查法案(政府提出)

○折原委員長 ソレデハ開會致シマス、私カラ小委員會ノ經過ヲ簡單ニ申

上ゲマス、小委員會ハ昨日開會致シマシテ、會議ガ終テ終了致シマシタ、會議ニ現レタ事柄ハ一二ノ質問ノ外、直

ニ原案ニ對スル議論ニ這入リマシテ、其議論ノ一ツハ此法案第一條ニ但書ヲ

加ヘテ、檢査手數ヲ取ラナイ、又手數料ヲ取ラナクナツタ場合ニハ、公共團體

ノ施設スル經費ハ國庫カラ之ヲ支辨スル、サウシテ附則「本法施行ノ期日ハ

勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノヲ、大正十六年一月一日ヨリ施行スル、斯ウ云

フ變更ヲ加ヘタイト云フ議論、ソレカラ原案ヲ認メル、ソレニ付テハ政府ニ

強キ希望ヲ有スルニツノ條件ガアルカラ、其希望ヲ政府ガ認メルカドウカ、此

希望ニ付テハ政府ハ全ク認メルト云フ意嚮デアリマシタ、然ル場合ハ原案ヲ

賛成スル、尙ホ其他ノ發言モアリマスガ、大體此ニツノ議論ニ分レマシテ、結

局前段ノ方ニハ三名ノ賛成者デアツテ小數、後段ノ方ハ四名ノ賛成者デアツテ、

多數デ小委員會ハ終了致シマシタ、此點ヲ御報告申上ゲマス、尙ホ管テ申合

サレマシタ通り、小委員會ノ決議ハ此委員會ヲ拘束致シマセヌノデアリマス

カラ、小委員會デ論議セラレタ演說其他ヲ再ビ詳シク本會デ御繰込ミニナル

コトデアラウト存ジマスカラ、私カラ其内容ヲ詳シク御報告スルコトハ差控

ヘマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ委員ノ村上紋四郎君ガ三月六日ニ辭

任サレマシテ、平沼亮三君ガ選定サレマシタ、又同日寺島權藏君ガ辭任サレ

マシテ、近藤重三郎君ガ選定ニナリマシタカラ、御諒承ヲ願ヒマス、直ニ討論

ニ入りマスカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○折原委員長 ソレデハ丹下君

○丹下委員 一寸委員長ニ承ツテ置キマスガ、昨日ノ小委員會ノ速記録ハ、是

ハ委員會ノ速記録ト同様ニ一般ニ配付サレルモノデアリマスカ、若シ配付サ

レルモノトシマスレバ、昨日ノ小委員會議述ベマシタコトヲ詳シク申上ゲル

ノモ如何カト思ヒマスガ、今特ニ委員長ヨリ御斷リガアリマシタカラ、念ノ

爲ニ伺ツテ置キマス

○折原委員長 速記録ハ配ルサウデア

リマス、昨日ノ議論ハ速記録デ盡ルト

思ヒマス、隨テ御省略ニナリマシテモ、

委員諸君ガ直接御聽キニナル爲ニ詳シク御述ベニナリマシテモ、御自由デゴ

ザイマス

○加藤(知)委員 過日來大臣ニ質問致シタイト云フコトヲ保留シテアツタ、只

今御見エニナツテ居リマス、討論ニ入ル前ニ極ク簡單デゴザイマスカラ：

○折原委員長 宜シウゴザイマス

○加藤(知)委員 先般同僚ノ隅田君カラ御尋ニナツタ正量檢査ニ付キマシテ、

橫濱ニ於ケル輸出商ト製絲家トノ間ニ紛擾ガ起キタ、其紛擾ガ片付カナイ場

合ニハドウ爲サルカト云フ質問ニ對シマシテ、大臣ハ明快ニ此場合ニハ自分

ハ責任ヲ負フト云フ御答ヲ爲サレマシタ、責任ヲ負フト仰シヤレバ、此上御尋

申上ゲルト云フコトモ如何ト云フノ

デ、隅田君ハ御遠慮申上ゲタヤウニ承ツテ居リマスガ、併ナガラ此責任ヲ負フト云フコトハドウ云フ風ニ責任ヲ負ハ

レルノデアアルカ、吾々ハ更ニ一步進メテ御伺シテ置キタイト、云フノハ幸ニ大臣ガ二年モ三年モ現職ニ御出下サルコトデアレバ實ニ申分ナイコトデアリマス、併ナガラ政變常ナイ今日デアリマスカラ、明日ガ日ニモ大臣ハ御辭任爲サラストモ限ラヌ、左様ナ場合ニ於テ此紛擾ハ片付カヌ、正量檢査ハ實施シタ、營業者ノ紛擾ハ益紛擾ヲ重ネ

ルト云フヤウナコトニナリマシタ場合ニハ、迷惑ヲスル者ハ製絲家デアル、是ハ明カナコトデアアル、斯ウ云フ場合ニ後任者ハ前任者ノシタ仕事デアアルカラ、ソレハ自分ノ與リ知ル所デナイト云フコトガ有リ勝デアアルカラ、其責任ヲ負ハルト云フコトハ、御在職中ニ此紛擾ハ解決シテ見セル、若シ出來ナイ場合ニハ之ヲ何トカスル、斯ウ云フヤウナコトニ於テ今一步進メタル所ノ御言葉ヲ吾々ハ頂戴シテ置キタイ

○早速國務大臣 明白ニ御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、加藤君ハ私ノ此間言ツタコトヲ少シ誤解シテ居ラレルヤウデアリマス、輸出商ト製絲家ノ間ニ紛擾ガアル、其紛擾ニ對シテ私責任ヲ負フト云フ風ニ言フタヤウニ今御述ニナリマシタガ、ソレハ或ハ私ノ聽違ヒデアツタカ知ラスガ、私ハ紛擾ニ對シテ責任ヲ持ツト申シタノデナイ、隅田君ノ御問ニ誠ニ明白デアツタ、此正量取引ヲ實施スレバ輸出商ハ反對スル、現ニ輸出商ハ正量取引ヲ實施スル場合ニ絲ハ買ハナイ、即チ言換ヘテ見レバ商賣ヲ廢メテシマウト云フ風ニ言ツテ居ルデハナイカ、サウスルト生絲ノ貿易ノ上ニ對シテ國家ハ非常ナ影響ヲ受ケルコトニナル、詰リ此大ナル貿易ト云フモノガ實際ニ於テ圓滿ニ行ハレナイコトニナルカラシテ、是ハ國家ノ一大事、經濟上ノ大打撃ヲ受ケルコトニナリハシナイカ、ソレヲ無カラシムル爲ニ農林

大臣ハ努力ヲシナケレバナラヌ責任ガアル、斯ウ云フ風ノ意味デアツタノデアリマス、如何ニモ左様ナ事ガアツテハイカヌト私ハ答ヘタ、輸出商ガ左様ニナツテ、日本ノ生絲貿易ニ非常ナ影響ヲ受ケルヤウナ事ガアツテハナラヌ、ソレハナカラシメナケレバナラヌ、ソレニ付テハ若シサウ云フ事ガアツテ、貿易上ニ非常ナ打撃ヲ受ケルコトガアツタ場合ニハ、ソレハ私トシテ責任ヲ負フ、ソレナカラシムルト云フコトヲ主ニシテ私ハ左様ニ申シタノデアアリマシテ、唯紛擾ニ對シテ云々ト云フ簡單ナ言葉デハナカッタノデアアリマス、今ハッキリ是ハ申スノデアアリマシテ、私矢張前日ノ言葉ヲ繰返シテ申スノデ、其貿易ノ上ニ非常ナル影響ヲ來スト云フヤウナ事ハ、是ハナカラシメナケレバナラヌ、私ハ矢張責任ヲ以テ左様ナル事實ガ現レテ來ナイヤウニハ、何處迄モ努力シナケレバナラヌノデアアリマス、ソレニ對シテハ私ハ其責任ヲ負フ、斯様ニ此席デモ申シ得ルノデアアリマス、萬一左様ナ事ガアツタラバト云フコトノ御尋デアリマスケレドモ、併シ私左様ナ事ハナカラシムル、左様ナ事ガアツテハナラヌ、之ニ對シテハ當業者トシテモ全力ヲ注グ、斯ウ云フ事ハ繰返シテ申シマス

○加藤(知)委員 或ハ私ノ聽違ヒデアツタカモ知レマセヌ、今大臣ノ御明言ニ依リマスレバ、貿易上ニ若シサウ云フヤウナ影響ノアツタ場合ニハ、成ベク努力スルト云フダケノ御言葉デアアルトシマスレバ、別ニ此上御尋スル必要モナシ、御依頼スル必要モナシ、當然ノ事ト考ヘテ居リマス

○丹下委員 昨日小委員會ニ於キマシテ私ノ意見ハ大體ニ於テ申述ベタノデアリマス、尙ホ只今委員長ヨリ成ベク詳細ニ言ツタ方ガ宜カラウト云フ意味ノ御意見ガアリマシタガ、多少重複スルカモ知レマセヌガ、一通リ申述ベタイト思フノデアアリマス、輸出生絲檢查法案ガ提出サレマシテ、當業者ノ間ニ色々物議ヲ生ジタノデアアリマス、本員モ其法案ノ審査ニ付キマシテ特別委員ニ擧ゲラレマシテ、色々法案ノ上ニ於キマシテ研究モ致シマシタガ、大體ニ於テ二ツノ疑問ヲ生ジタノデアアリマス、本法典ノ内容ハ大體約メテ言ヒマスレバ、輸出生絲ノ取引ヲ正量ヲ以テスルト云フコトト、輸出生絲ハ正量檢查ヲ勵行スルト云フコトト、正量檢查手數料ヲ徵收スルト云フコトト、今一ツハ國立檢查所ノ外ニ公共團體ノ檢查所ヲ認メルト云フ、此四點ガ主ナル箇所ト思フノデアアリマス、其中デモ輸出ノ目的ヲ以テ取引スルモノハ總テ正量ヲ以テスルト云フコトハ、是亦別段議論ハナイヤウデアリマス、又檢查ノ勵行ニ付テハ尙ホ一部ニハ多少ノ議論モアルヤウデアリマスケレドモ、大體ニ於テ最早已ムヲ得スト云フコトヲ認メ

ラレテ居ルヤウデアリマス、又公共團體ノ檢查所ヲ認メルト云フコトモ、既ニ神戸市ガ經營致シテ居リマス所ノ檢查所ノ相當ノ施設ヲ爲シテヤツテ居ル以上ハ、之ヲ認メルニ付テモ議論ハナカラウト思フ、唯檢查ノ手數料ヲ徵スルト云フコトハ、其可否ガ本案ノ審議ニ當ツテ重大ナル關係ヲ持ツテ來タノデアリマスガ、私ノ二個ノ疑問ヲ持ツテ居ルト申上ゲマシタコトハ、即チ此檢查手數料ヲ徵スルコトノ可否デアツタノデアリマス、此檢查手數料ヲ徵收スルコトガ主トシテ製絲業者ノ負擔トナリ、又ソレガ漸次轉嫁サレテ一般養蠶家ニ及ブノデハナカラウト云フコトヲ憂ヘタノデアリマス、而シテ此檢查手數料ノ金額ナルモノハ極メテ僅少デアリヤウデアリマスケレドモ、併シ只今加藤君ヨリ御述ニモナリマシタ通り、輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於キマシテ只今非常ニ紛糾ヲ來シテ居ルヤウデアリマス、此紛糾ノ本ガ製絲業者側ノ言フ所ヲ聽キマス、全國ノ製絲業者ガ此輸出業者ヨリ提示サレマシタ所ノ條件ノ結果、千二百萬圓ノ損失ニナルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、是ハ計算等ニ付キマシテハ曩ニ加藤君ヨリ詳細ナル書面ヲ以テ配付サレテ居ルヤウデアリマス、其内容ニ付キマシテ一々正確デアアルカドウカト云フコトハ調ベテ居リマセヌガ、大體ニ於テ左様ナ意見ヲ持ツテ居ル、是等

ノモノガ一般農家ノ事業ノ上ニ影響スルコトガアツテハ、是ハ頗ル重大ナル問題デアルト考ヘマシテ、此検査手数料ノ問題ニ付テ屢又相當シク政府ノ所見ヲ伺ッタ次第デアリマス、即チ此輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於ケル現在交渉ニナツテ居ル問題、即チ極端ニ申セバ頗ル紛糾シテ居ル問題ガ、是ガ私ノ極メテ本法審議ノ上ニ疑問ト致シテ居リマス第二ノ問題デアッタノデアリマス、本年ノ一月二十六日デアリマシタカ、輸出業者ノ側ニ於テ聯合協議會ニ於テ決議シタ所ノ十二箇條ノ問題ハ、之ニ對シマシテ製絲業者ノ方ハ到底之ヲ聽入ルルコトガ出來ナイト云フ意味ニ於テ、今尙ホ頗ル紛糾致シテ居ルノデアリマス、隨テ此輸出業者ト製絲業者トノ此問題ノ解決如何ガ、極メテ此蠶絲業ノ上ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、延イテハ生絲ノ取引ノ上ニ於テ圓滑ヲ缺キ、又輸出貿易ノ消長ニモ大ナル打撃ヲ與ヘルコトト思フノデアリマス、斯ウ云ウ當業者間ニ於テ非常ナ紛糾ヲ致シテ居ル時機ニ本法ヲ施行スルコトニナリマシタナラバ、本法ノ施行ノ上ニ於テノ聲價ヲ減殺スルバカリデハナク、又諍ク申シマスガ、一般養蠶家ニ對シテモ至大ノ影響ガアルト云フコトヲ私ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、大體此手数料徴收ノ可否ハ從來任意検査ヲ施行サレタ當時、無手数料デアッタノデアリマシテ、之ニ反シテ

此度強制検査ヲ施行スルニ當ッテ、手数料ヲ強制徴收スルト云フコトハ如何デアラウ、寧ロ強制スル以上ハ手数料ヲ徴サナクテモ宜イノデハナイカ、其額モ餘リ多カラヌコトデアアル、又此検査手数料ノ問題ガ公共團體ノ施設ニ係ル検査所ノ經營ノ上ニモ影響ヲ持ッテ來ルコトハ勿論デアリマスガ、是等ニ付テ相當政府ニ考慮ノ餘地ハナカラウカト云フコトニ付テハ、豫テ委員會ニ於キマシテ質問ヲ出サレタ次第デアリマス、政府ノ意見トシテハ大體ニ於テ從來ハ獎勵時代デアツテ、無手数料で成ベク検査ヲ受ケシムルト云フコトニ付テ十分努力スル必要ガアツテ、手数料ハ徴サナクツタガ、併シ最早検査ヲ受ケルト云フコトニ付テハ十分ニ進歩ヲ致シ、又其礎モ出來テ居ル今日デアアルカラ、之ヲ免除シナクテモ宜イト云フ御意見デアアルヤウデアリマス、又隨テ受檢者ノ爲ニ其商品ノ價值ヲ高メ、受檢者ノ利益トモナル、其特定ノ受益者ノ爲ニ其費用ヲ其者カラ徴收スルト云フコトハ、當然デアアルト云フ政府ノ御意見デアアルヤウデアリマス、成程是ハ一部ノ受益者ノ爲ニ一般國費ヲ以テ其費用ヲ支辨スルト云フコトハ、是ハ道理ノナイコトト思フノデアリマス、是ハ何方ニシマシテモ理窟ガアルノデアリマシテ、今マデ任意検査ニ於テ手数料ヲ取ラナクツタノデアアルカラ、強制検査ヲスレバ取ラナクテモ宜イト云フコトモ理窟デアリマスガ、要スルニ蠶絲業ノ上ニ於キマシテハ、國家トシテハ將來施設經營スベキ事柄ハ多々アルノデアリマシテ、吾々常ニ要望致シテ居ル一人デアリマス、例ヘバ蠶絲局ヲ設置致シマシテ、蠶絲ノ行政ヲ統一スルト云フヤウナコトモ、是ハ蠶絲業ノ上ニ於キマシテ先ヅ以テシナケレバナラヌヤウナコトト思ヒマス、其他幾多ノ施設スベキ事業モアリマスガ、要スルニ財政上ノ關係デ、其實現ヲ見ルコトガ出來ナイ事情デアリマスカラ、直ニ手数料ヲ以テ、蠶絲業ノ施設ニ充テルト云フコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、即チ積極的ニ其收入ヲ以テ施設ニ充テルトハ出來ナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角消極的ニハ所謂國庫ニ餘裕ノ生ジタ上ニ於テ、相當ナル施設ヲスルト云フコトハ、政府ニ於テモ其意味ノコトヲ聲明セラレテ居ルヤウデアリマス、私ハ此手数料ヲ徴スルト云フコトノ可否ハ須ク政府ノ意見ニ委シテ宜カラウト思ヒマス、殘ル所ハ唯輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於キマスル昨今問題ニナツテ居リマス所ノ紛糾デアリマス、是ハ何ト致シマシヤモ一ツ圓滑ナル解決ヲ圖ラナケレバラスコトデアリマシテ、若モ此問題ノ紛糾シテ居リマス時期ニ本法ヲ施行致シタト致シマシテモ、只今申シマシタ通り非常ニ施行ノ上ニ障害ヲ來スバカリデナク、延イテハ色色ナ方面ニ影響ヲ與ヘルモノデアリマ

窟デアリマスガ、要スルニ蠶絲業ノ上ニ於キマシテハ、國家トシテハ將來施設經營スベキ事柄ハ多々アルノデアリマシテ、吾々常ニ要望致シテ居ル一人デアリマス、例ヘバ蠶絲局ヲ設置致シマシテ、蠶絲ノ行政ヲ統一スルト云フヤウナコトモ、是ハ蠶絲業ノ上ニ於キマシテ先ヅ以テシナケレバナラヌヤウナコトト思ヒマス、其他幾多ノ施設スベキ事業モアリマスガ、要スルニ財政上ノ關係デ、其實現ヲ見ルコトガ出來ナイ事情デアリマスカラ、直ニ手数料ヲ以テ、蠶絲業ノ施設ニ充テルト云フコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、即チ積極的ニ其收入ヲ以テ施設ニ充テルトハ出來ナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角消極的ニハ所謂國庫ニ餘裕ノ生ジタ上ニ於テ、相當ナル施設ヲスルト云フコトハ、政府ニ於テモ其意味ノコトヲ聲明セラレテ居ルヤウデアリマス、私ハ此手数料ヲ徴スルト云フコトノ可否ハ須ク政府ノ意見ニ委シテ宜カラウト思ヒマス、殘ル所ハ唯輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於キマスル昨今問題ニナツテ居リマス所ノ紛糾デアリマス、是ハ何ト致シマシヤモ一ツ圓滑ナル解決ヲ圖ラナケレバラスコトデアリマシテ、若モ此問題ノ紛糾シテ居リマス時期ニ本法ヲ施行致シタト致シマシテモ、只今申シマシタ通り非常ニ施行ノ上ニ障害ヲ來スバカリデナク、延イテハ色色ナ方面ニ影響ヲ與ヘルモノデアリマ

スカラ、勅令ノ規定ニ定メラレテ居ル八月ヨリ施行ト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌ問題ト思フノデアリマス、ソレ故ニ此紛糾ヲ旨ク解決サセテ、然ル上ニ於テ本法ヲ施行スルト云フコトガ最モ必要ナル事柄ト私ハ信ズルノデアリマス、ソレカラ今一ツ製絲業者ハソレ相當大キナ資本ヲ以テ經營シテ居ル者モ澤山アリマスケレドモ、地方ニ於キマシテハ極メテ小規模ノ製絲業者ガ澤山アルノデアリマスガ、是等ガ經營上ニ困ッテ居リマス事ハ、輸出業者ノ掣肘デアリマス、輸出業者ガ製絲業者ヲ掣肘スル點ハ種々アリマセウケレドモ、吾々ノ考ヘル所ニ依リマス、製絲資金ノ運用、此問題ニ付テ常ニ頭ヲ抑ヘラレテ居ルノデアリマス、即チ地方ノ小製絲業者ハ資本ノ融通ニ付キマシテ、常ニ輸出業者ノ援助保護ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ輸出業者ヨリハ常ニ壓迫掣肘ヲ受ケテ居ルノデアリマス、而シテ又蠶絲業ノ發達ノ上ニ於キマシテ、製絲業者ノ製絲資金ノ圓滑ニ潤澤ニセシムルト云フコトハ非常ニ必要ナル事項ト思フノデアリマス、是ハ去ル大正十二年ノ當時ニ於キマシテモ、非常ニ製絲資金ノ融通ニ困リマシテ、政府ニ於キマシテモ、又地方ニ於キマシテモ、其資金ノ運用ニ付キマシテ非常ナル努力ヲ致シマシタガ、其結果ハ一般養蠶業者ニ對シテ多大ノ利益ヲ與ヘタト云フコトハ、今尙ホ吾

人ノ記憶ニ新タナル所デアリマス、將來ニ於キマシテモ、政府ハ製絲資金ノ運用ノ圓滑潤澤ト云フコトニ付キマシテ、今一段ノ考慮、努力ヲ拂ハレンコトヲ私ハ希望シテ居ル者デアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ本問題ノ賛否ヲ決スルニ當リマシテ、本法ノ施行期日ヲ相當延期スルト云フコトト、製絲資金ノ圓滑潤澤ト云フコトニ付テ、政府ノ考慮、努力ヲ求メルト云フ、此二ツノ問題ニ付キマシテ、幸ニ早速農林大臣ヨリノ御聲明ヲ得テ、然ル上ニ賛否ヲ決シタイト思ヒマス、是ハ昨日ノ小委員會ニ於キマシテモ、大體斯様ナ意味ヲ申上ゲマシテ、既ニ小山農林次官ヨリハ極メテ明快ナル御聲明ヲ得タノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ尙ホ大臣ト云フコトハ甚ダ諄イヤウデアリマスケレドモ、併シ此問題ハ頗ル重大デアリマスガ故ニ、幸ニ大臣モ御出席ニナツテ居リマスカラシテ、極メテ強イ意味ニ於ケル所ノ希望條件ヲ提示致シマシテ、之ニ對シテ農林大臣ノ御聲明ヲ得タイト思ヒマス、其希望條件ハ、單ニ演説ダケデハ、言葉ノ趣意ニ於テ間違ガ起ツテモイケマセヌカラ、書面ニ認メテ居リマスカラ、一應朗讀致シマシテ御聽取ヲ願ヒマス、希望條件、一、輸出生絲検査法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テスルコト、理由、最近生絲検査輸出業者側ノ決議ニ依リ製絲業者側ニ對シ、生絲取引ニ關スル數箇ノ要求

ヲ爲シタルコトハ世間周知ノ事實ナリ、右ハ製絲業者側ニ取リテ頗ル重大ナル關係ヲ有シ、引イテ生絲取引ノ圓滑ト輸出貿易ノ消長ニ多大ナル打撃ヲ加フル結果、本法施行ノ成果ヲ減殺スル虞アルノミナラズ、養蠶業者ニ及ボス影響至大ナルモノアリト信ズ、從テ此問題ハ本法施行以前ニ於テ圓滑自由ナル解決ヲ了セシムル必要アリト認ム、仍テ政府ハ是等ノ關係ヲ十分考慮シ、本法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テセラレンコトヲ望ム、一、製絲業者ノ製絲資金ヲ圓滑潤澤ナラシムル途ヲ講ズルコト、理由、製絲業者ガ輸業者ニ掣肘セラルル重大ナル點ハ、資金問題ニアリト信ズ、製絲業者ノ資金運用ノ如何ハ直ニ養蠶業者ニ至大ノ影響アルヲ以テ、政府ハ將來一層製絲資金ノ圓滑潤澤ヲ得セシムル途ヲ講ジ、十分ナル注意ト努力トヲ拂ハレムコトヲ望ム、第一ノ條件ニ付キマシテモ、第二ノ條件ニ付キマシテモ、既ニ前段申述ベマシタ通りデアリマシテ、唯此問題ノ解決ニ當リマシテ、政府ガ餘リ干涉壓迫ヲシテ、無理ニ抑ヘ付ケルト云フコトハ是ハ甚ダ宜シクナイノデアリマスガ故ニ、成ベク彼等ノ間ニ於キマシテ圓滑ニ、自由ニ、公正ニ、此問題ヲ早ク解決サセマシテ、其後ニ於テ本法ヲ施行サレルト云フコトニナリマシタナラバ、本法制定ノ趣意ニ適シマシテ、極メテ國家ノ上ニ益スルモノト思

ヒマス、ソレ故ニ只今申上ゲマシタ希望條件ニ付テ、是非共御賛成ヲ得タイノデアリマシテ、而シテ之ニ對シテハ責任アル御聲明ヲ得マシテ、其上ニ於テ私ハ賛否ノ意見ヲ申述ベルコトヲ茲ニ保留シテ置キマス

○隅田委員 丹下君ノ只今御演説ニナリマシタ、第一ノ希望條件ノ理由ノ中ニ、自由ナル解決ト云フ御言葉ガアッタノデアリマスガ、自由ナル解決トハ如何様ニ心得テ宜シイカ、政府ノ干涉ヲ忌避スル意味ニ於テノ自由ナル解決デアリマス、其點ヲ明確ニ御説明ヲ煩シタイノデアリマス

○丹下委員 隅田君ノ御質問デアリマスガ、私ハ此點ニ付テハ、少シク強ク申述ベタ積リデアリマス、本法ノ施行ヲ急グ爲ニ餘リニ干涉壓迫ヲシテ、無理ナ解決ヲスルト云フコトガアツテハ甚ダ面白クナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ相當獎勵援助スルト云フコトハ、固ヨリ必要デアリマスケレドモ、其意味ニ於テ圓滑ニ、自由ニ、且ツ公正ニ、此問題ヲ解決ヲスルヤウニト云フ意味デアリマス

○早速國務大臣 丹下君ノ御要求デアリマスカラ、私ガ御答ヲ致シマス、御述ニナリマシタ趣意ハ、第二段ニ分ケテノ御陳述デアッタノデアリマス、其趣意ハ私ニ能ク分リマシタ、第一點ノ色ニ御述ニナリマシタ御趣旨ノ輸出生絲検査法ノ施行ハ、大正十六年一月一日以

後ニ於テスルト云フ御希望デアリマス、之ニ就テハ當局トシテ御希望ニ副フベク十分考慮ヲ致シタイト思フノデアリマス、第二點ニ付テモ、是ハ製絲資金ニ關係シテノ御希望デアッタノデアリマス、當局ト致シマシテハ出來得ルダケ、此御希望ニ副フベク、此點ニ付テモ十分ノ考慮ヲ拂ヒタイト思ヒマス、是ダケ申上グテ置キマス

○丹下委員 只今早速農林大臣ヨリ責任アル御聲明ヲ得マシテ、私ハ満足致スノデアリマス、故ニ此二項ノ希望條件ヲ附シテ政府ノ原案ニ賛成ヲ致シタイト思フノデアリマス

○隅田委員 本員ハ昨日小委員會ニ於テ、本法案ニ對シテ修正案ヲ提出シタノデアリマスガ、不幸ニシテ少數ノ廢案ニセラレタ譯デアリマスガ小委員會ノ設置ニ先ダチマシテ、小委員會ノ議決ハ何等同委員會ヲ拘束シナイ申合セデアリマシタガ故ニ、小委員會ニ於テ廢案トセラレマシタガ、茲ニ改メテ修正案ヲ提出スル次第デアリマス、而シテ修正ノ箇所ヲ委員長ノ手許マデ提出シテアルノデアリマス、吾々政友會同志ハ本法案ニ對シマシテ、第一條ノ末ニ「但検査料ヲ徴セス」此八字ヲ加ヘルノデアリマス、第一條ノ末ニ「此場合ハ検査ニ要スル經費ハ之ヲ國庫ヨリ交付ス」昨日小委員會デアハ之ヲ三項ニ加ヘルトコトヲ申シマシタガ、之ヲ改メマシテ第一條第二項ノ末ニ加ヘルノデ

アリマス、更ニ附則ノ「本法施行期日ハ  
勅令ヲ以テ定ム」トアリマスノヲ、本  
法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行  
ス」ハ昨日ノ小委員會ノ修正ト同様  
デアリマス、本法ノ修正ニ對スル詳細  
ナル理由ノ陳述ハ、之ヲ本會議ニ讓ル  
コトニ致シマシテ、此場合極メテ簡單  
ニ其要旨ヲ陳述致シテ置ク次第デア  
リマス、既ニ昨日小委員會ニ於テモ、陳  
述ヲ致シマシテ、茲ニ之ヲ繰返スコト  
ハ重複ノヤウデアリマスガ、簡單デア  
リマスカラ一應御聽取ヲ願ヒマス、修  
正ノ要點トスル第一ハ、農林當局ニ於  
テハ我が蠶絲業ハ既ニ幼稚ノ時代ヲ脱  
シ、即チ幼年時代ヲ經過シテ既ニ青年  
時代ニ相成ッテ居ル、今後特ニ保護獎勵  
ノ必要ハナイ、斯様ナ御意見ノ下ニ蠶  
絲業ノ今回ノ大改正ヲ加ヘラレ、正量  
検査ノ取引ニ依テ検査ノ手数料ヲ徴シ  
テモ何等差支ナイ、斯様ナ御議論カラ  
出發致シマシテ、本法案ヲ御提案ニテ  
タヤウデアリマスルガ、吾々ハ今日我が  
蠶絲業ノ悲惨ナ現狀ニ付テ詳細本會議  
ニ於テ申述ベル積リデアリマスガ、此  
悲惨ナル現狀ニ願ミマシテ、此検査ノ  
手数料ヲ徴收スルト云フコトハ極メテ  
不合理デアル、否吾々ハ今後ニ於テ蠶  
絲業ヲ益保護獎勵スル必要ヲ認ムルノ  
デアルガ故ニ、此検査料ヲ徴セナイト  
云フコトガ至當デアルトスルモノデア  
リマス、第二ニ於キマシテハ、本會議並  
ニ數回開會セラレマシタ當委員會ニ於

キマシテ、政府當局ノ御説明御答辯ニ  
依リマス、此正量取引ヲ實施スルニ  
至レバ、其利益ヲ受クルモノハ主トシ  
テ製絲家デアアル、施行細則ノ未定稿ノ  
中ニハ此検査料ハ要スルニ申請者ガ納  
付スルコトニナツテ居ルガ、併ナガラ製  
絲家ガ負擔スルモノト想像セララル  
ガ、其負擔ヲシタ所デ、農林當局ノ心ヲ  
以テスレバ製絲家ガ直接ニ莫大ナル利  
益ヲ受クルノデアルカラ、其受益者ガ  
費用ヲ負擔スルト云フコトハ當然デア  
ル、斯様ニ御説明ヲセラレテ居ルノデ  
アリマスルガ、吾々ノ考フル所デハ是  
ト正反對ニ相成ッテ居ルノデアリマス、  
其點ハ過日來屢開カレマシタ委員會ニ  
於テ、本員ノ質問中ニモ多少意見トシ  
テ附加ヘテ陳述致シテ置キマシタ通り、  
吾々ノ正量取引ノ最初ノ主張ト云フモノ  
ハ極メテ合理的デアッテ、内地ト同時ニ  
海外ニ及ボス、斯ウ云フコトニ相成リ  
マスルト、ソレハ農林當局ノ主張セラ  
ルル如ク、此正量取引ノ實施ハ直ニ製  
絲ノ利益トナルノデアリマセウ、併ナ  
ガラ今回實施セララル所ハ左様デハナ  
イノデアリマス、唯内地ニ寧ろ試験的  
ニ實施セララルモノデアリマシテ、而  
シテ此正量取引ヲ致シタモノニ對シテ  
ハ、輸出商ハ任意デアアルノデアリマス、  
而シテ過去ニ於テ我が輸出商ハ之ヲ海  
外ニ輸送スル場合ニ於ケル狀況ニ鑑ミ  
マスルト云フト、水分率ノ低減スル目  
方ト云フモノハ其輸出商ノ利益ニナツ

テ、何等製絲家ノ利益ニハ相成ラナイ  
ノデアリマス、只今ハ準備期間デアアル、  
政府當局ノ稱スル此準備期間ニ於テハ  
製絲家ハ利益ニ相成ラヌ、之ハ要スル  
ニ意見ノ相違デアリマセウケレドモ、  
兎ニ角吾々ハ左様ニ信ジテ疑ハナイノ  
デアリマス、此意味ヨリ致シマシテ吾  
吾々ハ此準備期間ニ於テハ、兎ニ角製絲  
家ノ損失デアアル、當局ハ利益デアアル、斯  
様ニ見ラレマスルケレドモ、吾々ノ損  
失ト云フ意味ヨリ致シマスルト云フ  
ト、ドウシテモ此検査料ヲ徴スルト云フ  
コトハ極メテ不合理ト信ジテ疑ハナイ  
ノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ト致  
シマシテハ、當局ハ此検査料ハ極メテ  
少額デアアル、斯ノ如キ高價ナル商品ニ  
對シテ少額ノ検査ノ手数料ヲ徴シテモ  
何等苦痛デハナカラウ、斯様ニ御説明  
アラセラレテ居ルモノデアリマスル  
ガ、吾々ハ左様ニ信ジナイ、此點モ過日  
ノ特別委員會ニ於テ詳細陳述致シテ置  
イタ次第デアリマスルガ、要シマスル  
ニ此検査ハ進ンデ品位検査ナリ、或ハ  
特別検査モ實施スルニ至ルモノデアリ  
マスルガ故ニ、今後ハ生絲生産額ノ増  
額ト共ニ、是等諸種ノ検査ヲ實施スル  
ニ當ッテ、同様ニ検査料ヲ徴收セララル  
ト云フコトニ相成リマスルト云フト、  
其額決シテ尠クナイノデアリマス、又第  
四ノ點ト致シマシテハ、從來此生絲貿  
易ニ於テ荷掛金ト云フモノガアルノデ  
アリマス、一俵ニ付テ九十錢ノ割合デ

製絲家ガ出シテ居ッタンデアアル、其荷掛  
金ハ當然廢止セララル譯デアアルカラ、  
其荷掛金ノ代リニ一俵一圓幾ラカノ手  
數料ヲ以テシタ所デ、何等收支償ハヌ  
ト云フコトハナカラウ、斯様ニ説明セ  
ラレテ居リマスルガ、吾々ノ此荷掛金、  
俗ニ申シマスル所ノ看貫料ナルモノハ  
極メテ弊害アルモノトシテ、排斥ヲ致  
シテ居ルモノデアリマスケレドモ、數  
十年ノ永キニ互テ因襲致シテ居ル所ノ  
此商習慣ハ、左様ニ政府當局ガ御考ニ  
ナツテ居ルヤウニ一朝一夕ニ之ヲ廢止  
スルコトハ、吾々ハ不可能ト存ジテ居  
ルモノデアリマス、デ又他ニモ色々ノ  
點ガアリマスルガ、私共ノ検査料ヲ徴  
セズト修正スル所ノ理由ノ要旨ハ、以  
上申上ゲマシタ四五ノ點ニ在ルモノデ  
アリマス、而シテ此第一項ノ末ニ「検査  
料ヲ徴セス」ト書キ加ヘテ修正スルニ  
伴ヒマシテ、第一條第二項ノ末項ニ只  
今申上ゲマシタ「此場合ハ検査料ニ要  
スル經費ハ之ヲ國庫ヨリ交付ス」、即チ  
政府當局ノ御認メニナツテ居リマス所  
ノ神戸市立検査所ニ正量検査ヲ委託ス  
ルニ付キマシテ、其手数料ヲ徴セナイ  
コトニナリマスルト、神戸市立検査所  
ノ經費ハ神戸市ガ負擔スルカ、乃至ハ  
國庫ガ之ヲ負擔スルカ、此兩様ノ中何  
レカニ出デナケレバ相成ラヌモノト  
信ジマス、而シテ神戸市ハ公共團體デ  
アリマシテ、而シテ今回ノ此神戸市立  
検査所ノ新築ニ付キマシテハ多大ノ機

牲ヲ拂ッテ、殆ト百萬圓ニ近キ所ノ巨額ノ金ヲ出シテ居ルモノデアリマス、又一面國ノ生絲検査所ハ手數料ヲ徵セズシテ、其經費ハ國庫カラ支辨スルモノデアリマスカラ、其意味ニ於キマシテ神戸市立検査所ノ検査ニ要スル所ノ經費ハ、之ヲ國庫ヨリ交付スルノハ當然ナリト信ジマシテ、此修正ヲ加ヘル次第デアリマス、最後ニ此附則ノ修正ハ、本案ヲ施行スルニ當ッテ検査料ヲ徵セナイト云フコトニナルト、或ハ經費ノ支出ニ困ッテ、政府ガ實施スルコトガ出來ナクナル、斯様ニ杞憂セラレル點ガアツタガ故ニ、吾ミハ正量取引ノ實施ヲ出來得ル限リ早ク實行セラレンコトヲ希望シ、而シテ此手數料ヲ徵セズト修正スルコトニ依テ、政府ハ立法府ノ決議シタル、此法案ノ執行權ヲ持ッテ居ル所ノ責任ト致シマシテ、必ズ適當ナル方法ノ下ニ經費ヲ御支出ニナルト云フコトヲ考ヘマシテ、茲ニ今讀上ゲマシタ如ク修正スル次第デアリマス、而シテ尙ホ此點ニ付テ申上ゲマスルガ、本員等ハ政府ノ本法案提出ニ當リマシテ、最初ノ意思ヲ尊重シマシテ、此施行期日ノ修正ニ付テハ、大正十五年八月一日ト爲ス考デアリマシタ所、前刻丹下委員ノ希望條件ノ第一點ニ對シマスル、政府當局ノ御聲明ニ準據致シマシテ、茲ニ「本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト修正致シタ次第デアリマス、尙ホ詳細ノ點ハ本會議ニ讓リ

マサルガ、若シ御質疑ガアリマシタ場合ニハ御答ヲ致シマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス  
○折原委員長 此場合ニ畔田君ニ發言  
○畔田委員 私モ簡單ニ本案ニ付キマシテ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、私ノ疑點ハ、本案ト帝國議會ノ立法權ノ限界ニ關シマシテデアリマスルガ、是等ニ付キマシテハ、度々政府當局ト憲法第六十二條第二項ニ關シテ意見ヲ戰ハシタノデアリマスガ、不幸ニシテ政府當局ノ御見解ハ、私ノ見ル所ト異ニ致シテ居ル、隨テ更ニ議論ヲ重ネテモ水掛論ニナリマシテ、何等ノ結果ヲ齎サナイト思ヒマシタガ故ニ、尙ホ速記録ニ遺漏モアリマシタシ、又世間ニ誤リ傳ヘラレナイヤウニ、私ハ之ヲ五日ノ委員會ニ於キマシテ、自分ノ憲法ニ對スル見解ヲ極ク要點ヲ摘ミマシテ、三點ヲパーツノ覺書ニシテ、委員長ヲ經マシテ政府當局ニ差上ゲタノデアリマス、私ハ再ビソレヲ繰返スコトヲ好ミマセヌガ、私ノ主張致シマスル論據ガ其點ニ在リマスルガ故ニ、其要點ノミヲ申上ゲタイト思ヒマス、其要點ハ三ツアル、即チ六十二條二項ノ解釋カラ致シマシテ、「報償ニ屬スル行政上ノ手數料及其他ノ收納金ハ、前項ノ限ニアラス」ト申シマスルノハ、其總テニ付テ當然命令ニ依テ徵收シ得ベキモノト認メタモノデハナイ、其命令ヲ以テ定

ムルモノト致シマスルハ、唯其收納ノ本來ノ性質上法律ガ要ラナイ、又ハ憲法ノ他ノ條項ニ基イテ、命令ヲ以テ定メ得ベキ所ニ屬スルモノニ限リ、憲法ノ他ノ條項並ニ精神ヨリシテ、法律ヲ要スベキ場合ニハ依然帝國議會ノ協贊ヲ經タル立法ヲ要スルモノデアアル、次ニ行政行爲ニ對スル報償ト雖モ、(一)其反對給付タル行政行爲自體ガ法律ニ依リテノミ定メ得ベキ所ニ屬スル場合、例ヘバ租稅督促、手數料、(二)其反對給付タル行政行爲ガ現ニ法律ニ依リテ定メラレタル場合、本件ノ輸出生絲検査ノ如キ類デアリマス、是等ノ報償タル手數料ハ法律ニ依ラナケレバナラス、尙ホ公衆ノ自由使用ニ供セラレル公物ノ使用ニ付テ、使用料ヲ徵スル場合ニ於キマシテモ、國家ノ營造物ノ利用ガ強制セラル場合、若クハ國家ノ獨占ニ屬スル場合ニ於キマシテハ、其使用料ハ法規ノ根據ヲ要スル、以上申上ゲマシタ三ツノ點ヲ私ガ覺書ニシテ差上ゲタ次第デアリマス、而シテ以上ノ論據ニ依リマシテ本案ヲ見マスルノニ、本案ハ法律ニ依テ義務ヲ強制致シテ居ル、サウシテ帝國議會ノ關與シナイ所ノ行政命令ヲ以テ手數料ヲ取ルト云フコトニナッテ居ル、而シテ其罰ノ如キハ千圓ト云フ重キ罰ヲ科シテ居ルノデアリマス、即チ其義務ノ強制ノ程度ヨリ申セバ甚ダ強イモノデアアル、隨テ是ハ手數料ヲ取ルベキモノデナイト見ルコトガ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

至當デアラウト思フ、小委員會ニ於テモ申上ゲマシタガ、若シ本案ノ中ニ手數料ハ勅令ニ依テ定ムト云フ根據ガアリマスルナラバ、本案ノ疑義ハ比較的少クナル、併シ今申上ゲタ筋カラ申上ゲマスレバ、本案ノ強制ハ非常ニ強イ、其手數料ハ寧ロ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、現ニ佛蘭西、壞地利ニ於キマシタモ、亦英國ニ於キマシテモ、租稅ト手數料トノ區別ガハッキリシナイ、單ニ名前ノミヲ以テ之ヲ見ルハ、非常ニ困難ナコトデアアル、隨テ本案ノ手數料ノ如キ、其實質カラ見レバ租稅ト異ラナイト思フノデアリマス、斯様ナ點デ私ハ隅田君ノ御意見ヲ至當ト致シ、隅田君ノ御提出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、更ニ私ハ申添ヘタイノデアリマスガ、政府當局ヨリハ慣例ニ依ルト云フ御言葉ガ度々アツタガ、此慣例ニ依ルト云フコトヲ能ク顧レバ、行政命令ガ隨分立法權ヲ犯シテ居ルノデアリマス、而シテ其根據ハ明治二十三年ノ法律第八十四號タル行政權ニ罰則ヲ委任致シマシタ規則デアリマス、現ニ花菴検査規則ノ如キモ其罰則カラ出來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ此花菴検査規則ノ如キヲ命令ニ依テ定メタノハ不當ト言ハナケレバナラヌ、重要物產同業組合法ノ如キ、商業會議所法ノ如キハ之ヲ法律ヲ定メ、又義務ニ屬スル所ノ金錢關係モ法律ニ依テ

定メテアリマスルノデ、是ハ適當ト思フノデアリマス、併シ是等ノモノヲ除キマシテハ、大部分行政權ヲ以テ立法權ヲ侵シタ事實ガ多イノデアリマス、又性質ハ違ヒマスルガ、金輸出禁止ノ大藏省令ノ如キモ同様デアル、隨テ私ハ本案ノ實體案ニ付キマシテハ寧ろ是ハ宜イト思ヒマスルケレドモ、其憲法上ノ見解、帝國議會ノ立法權ヲ侵シタ點カラ考ヘマスルナラバ、本案ヲ提出セラレタノヲ機會トシマシテ、從來行政權ガ立法權ヲ侵シタ、其點ニ一展開ヲ致サナケレバナラス、即チ行政權ヲ以テ立法權ヲ侵サナイト云フコトヲ明ニ示ス必要ガアラウト思フノデアリマス、要スルニ私ハ検査ヲ強制シタル法律ガ、手數料ニ關シテ何等ノ意思表示ヲ爲サズシテ検査ヲ強制シマシタル場合ニハ、國民ハ無手數料ニテ検査ヲ受ケ得ラレルモノト解釋致シテ居ルノデアリマス、以上私ノ意見ヲ申述ベマ

言葉ガアリマシタル以上、此希望條件ヲ附ケルト云フコトニ付キマシテモ私共ハ賛成ヲスル者デアリマス、尙ホ先刻政友會ノ隅田君カラシテ修正意見ガ御提出ニナリマシタ、其理由トセラルル點ヲ伺ッテ見マスト、若シ斯ノ如キ理由デアルトスルナラバ、検査手數料ヲ徵收シナイト云フ修正デハ甚ダ不徹底ナモノデアッテ、寧ろ廢案說ヲ主張サルノガ當然ノ歸結デアルガ如キ疑ヲ起シタノデアリマス、此場合ニ於キマシテハ其點ニ對スル追窮ハ私ハ差控ヘテ置カウト思ヒマス、唯私ガ承ッタ所ニ依リマスト、其第一ノ理由中ニ於テ、政府ハ我國ノ蠶絲業ハ既ニ幼年時代ヲ經過シテ青年時代ニナッテ居ル、故ニ最早保護獎勵ヲ要シナイ、斯ウ云フコトヲ政府ハ言ウタト云フ如クニ御話ニナリマシタガ、政府ノ當局カラ吾々ハ我國ノ蠶絲業ハ最早保護獎勵ヲ要シナイト云フガ如キ御言葉ハ、嘗テ一回モ承ッタコトハナイ、言葉ニ於テ承ラナイノミナラズ、恐ラク左様ナ意思ハ無イモノデアラウト思ヒマス、此法案ノ如キハ即チ我國ノ蠶絲業ヲ彌々發達サセル所ノ必要カラシテ是ハ制定サレタモノデアルト、吾々ハ認メルノデアリマス、故ニ隅田君ノ申サレタ政府ガ蠶絲業ニ付テハ最早保護獎勵ヲ要シナイト云フヤウナ言葉ヲ使ッタト云フ意味合ニ於テ、斯ノ如キ修正說ヲ立テラレタト云フコトニ付テハ、吾々ハ承服シ難イモノデ

アルト云フコトヲ一言添ヘテ置ク次第デアリマス  
○折原委員長 是デ主論ガ終リマシテ、演說ノ通告ガアリマスノデス、加藤君此際ニ……  
○加藤(知)委員 詳細ニ述ベタイト思ヒマスケレドモ、最早時間モゴザイマセヌ、私ハ隅田君、畔田君ノ說ニ賛成ヲ致シマシテ、憲政會ノ說ニハ大反對ヲ致シマス、其反對ノ理由ハ詳細本會議ニ於テ陳述ヲ致スコトニ致シマス  
○折原委員長 志村君何カ仰シヤイマスカ  
○志村委員 アリマセヌ  
○折原委員長 志賀君  
○志賀委員 私モ何モアリマセヌ、唯萬一ノ場合少數破レマシタ場合ニ、少數意見ノ報告ヲ願ヒタイ、ソレダケ請求致シテ置キマス  
○横山委員 此憲法論ニ付テ一言致シテ置キタイト思ヒマス、此點ニ付テハ過日來政府カラ畔田君ノ質問ニ對シテ詳細答ヘラレテ居ルト全部同様ノ意見デアリマス、即チ政府當局ノ聲明スル通り、決シテ憲法ニ違反スルモノデハナイト云フコトヲ申シテ置キマス、殊ニ此本案ニ付テ憲法論ヲセラルルト云フコトハ全ク理由ガ無イ、本案ハ畔田君ノ仰ヒノ通り、其事柄ヲ表明シテ居ラヌノデアリマス、隨テ本案自體ガ憲法ニ觸レルト云フコトハ少シモ無イノデアリマス、此意味ハ或ハ本會

議ニ於テ詳細ニ述ブルカモ知レマセヌ、要スルニ憲法論ハ全部政府ノ申ス通り理由ガナイノデアリマス  
○丹下委員 政友會ヨリ昨日小委員會ニ提出サレマシタ御修正ノ案ハ、私共當時承ル所ニ依リマスレバ、施行期日ノ所謂附則ノ修正ハ八月一日ト云フコトニナッテ居ッタクヤウデアリマス、(一)ノウ(一)イヤ事實デアリマス、然ルニ本員ノ提出致シマシタ此希望條件ニ依リマシテ小山次官ノ御聲明ガ、矢張大正十六年一月一日以後ト云フコトヲ承認サレマシタ、其結果急速ニ又附則ガ變更サレタクヤウデアリマス、是ハ勿論此機宜ノ處置ヲ御任セニナリマシタ上ニ於キマシテ、洵ニ巧妙ナル御修正デアッタイト思ヒマシテ敬服スル譯デアリマスガ、併シ非公式ニ隅田君ノ御話ヲ承ッタイキニハ、若シ萬一少數倒レマスレバ、改善ヲ取ッテ此希望條件ヲ附ケタモノニ賛成スルト云フ意味ノコトヲ私ハ承ッタイト思ッテ居リマス、デアルカラ若シ萬一少數デアアルナラバ、此條件ヲ附ケタモノニ御賛成ガ願ヒタイト云フコトヲ茲ニ希望スル譯デアリマス  
「採決々々」ト呼フ者アリ  
○若尾委員 此程度ニ於テ討論ヲ打切ラレテ、直チニ採決サレンコトヲ願ヒマス  
○折原委員長 ソレデハ皆サンノ御議論モ盡キマシタト存ジマスカラ採決致シマス、採決ハ原案ニ遠イ方カラ決

探ルコトニ致シマス、ソレハ内容ハ皆様御承知デアリマスカラ申述ベマセヌガ、隅田豊吉君ノ御提議ハ原案ニ三箇所ノ修正ヲ加ヘル、斯ウ云御意見デアリマス、丹下君ノ發議ハ原案ハ認メル、但シ希望條件ヲ附スル、隅田君ノ御意見ノ方ガ原案ニ遠イモノト認メマカラ、是ヨリ先ニ採決ヲ致スコトニ致シマス、隅田君ノ御發議ニ御同意ノ方ハ迷惑デモ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○折原委員長 十一名——次ニ丹下君ノ御發議ニ御同意ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○折原委員長 十五名、多數デアリマス

○志賀委員 ソレデハ少數意見ノ報告ヲ願ヒマス

○折原委員長 少數意見ヲ報告スルコトニ致シマス——ソレデハ是デ本委員會ハ閉ジマス、一寸一言御挨拶ヲ申上ゲマス、本法案ハ法文トシテハ八箇條、極メテ簡單ナモノナデアリマスガ、内容ハ御承知ノ通り極メテ重大ナモノデアリマシタノデ、會ヲ重ネルコト九回、日數ヲ要スルコト二十日ノ間ヲ以テ茲ニ議了シマシタコトヲ恐縮ト存ジマスト共ニ、致方ノナイ結果デアラウト思ヒマス、幸ニ諸君ノ御勵精ニ依リマシテ無事ニ委員會ヲ終了致シタコトヲ、幸福ト致シマスト共ニ、不慣レ不行届ノ

私ノ爲ニ不満足ノ點ガ多クタコトト存ジマス、茲ニ深く御詫ヲ申上ゲマシテ御挨拶ト致シマス(拍手)  
午後零時十二分散會